

福島第一原子力発電所 多核種除去設備等処理水に関する 設備の検討に必要な海域での地質調査等の実施について(続報)

< 参 考 資 料 >
2021年11月29日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 多核種除去設備等処理水の取扱いについては、政府の基本方針（本年4月に決定）を踏まえ、安全性の確保を大前提に、風評影響を最大限抑制するための対応を徹底するべく、設備の設計や運用等の検討の具体化を進めています。本年8月25日、これらの検討状況について公表しました。
- そのうち、取水・放水設備は、港湾外から海水を取水し、海底トンネル（約1km）を経由して放出する案とし、関係するみなさまからのご意見等を伺いながら、引き続き検討を進めています。
- 同設備の詳細検討や工事の安全確保に向けて、地質データの把握に必要となる海域での「磁気探査調査」を11月27日以降、「地質調査」を12月1日以降開始する予定です。
〔お知らせ済み〕

- 11月27日、下表通り「磁気探査調査」を実施し、調査対象エリアの海底に支障物がないことを確認しました。本調査結果を踏まえ、「地質調査」を12月1日以降開始します。
- 引き続き、気象・海象の状況等を見ながら、安全を最優先に進めてまいります。

磁気探査調査結果

	台船探査	潜水探査	結果
沖合 1,000m	11/27実施	11/27実施	支障物なし
沖合 700m	11/27実施	必要なし (台船探査の結果)	支障物なし
沖合 400m	11/27実施	必要なし (台船探査の結果)	支障物なし

(参考) 磁気探査調査写真

福島第一原子力発電所沖合1km圏内で撮影

